

jinja  
de  
kinoko

## きのこ物件シリーズ① きのこ神社のこと

吹春 俊光  
tashimitsu fukiharu



図2／思わず持つて帰りたくなるバス停の看板

佐倉市の自然環境調査で佐倉へ通ったところ、きのこ物件を発見した。千葉市から51号を北東へ進み、鹿島川を渡り、神門(ごうど)という交差点を左へ曲がると、木野子というバス停が見える。地名が木野子らしく(図1)、バス停の名は「木野子神社」(図2)、近くの医院は「木野子外科」(図3)などと、きのこ物件が並ぶ。木野子神社の鳥居をくぐると、諏訪神社、金刀比羅神社が並んでいる(図4)。奥にきのこのご神体があるわけではなく、単に地名が木野子であった故きのこ神社になった様子。

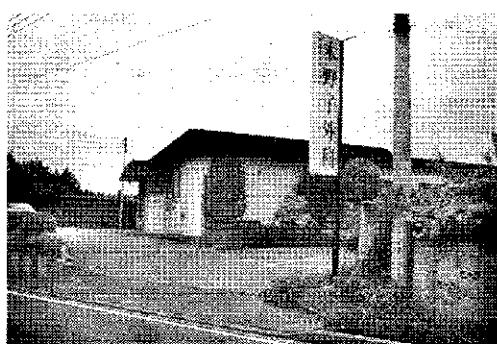


図3／診察受けるならここ？ きのこ外科



図1／思わず引つ越したくなる木野子という地名

角川日本地名大辞典12巻千葉県、によれば、「(近世)江戸期～明治22年の村名、下総国印旛郡のうち佐倉藩領：(近代)明治22年～現在の大字名、はじめ根郷村、昭和29年からは佐倉市の大字。」とある。平凡社の日本歴史地名大系12巻千葉県の地名、には「木野子村：「本土寺過去帳」の三日条に延徳五年(1493)九月付でキノ子彦次郎家の妙心の名がみえる。「寛文朱印留」には木子村として佐倉藩領。以後幕末まで同藩領。元禄郷帳には木野子村とあり、高九九石余。延享三年(1746)の村明細帳(内藤家文書)によれば田八町余・畠屋敷六町八反余・新田畠一町一反余、御林松山二カ所。」とある。

関西に Fungi に関する深い草(くさびら)神社があるというが、千葉のきのこ神社はきのこと何の関係もない様子でした。



図4／鳥居の奥には、普通の神社が。来年のきのこの豊作を祈願